変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2013 October

No.139

10

JA全農ぐんま

私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 10

営農総合支援センター

○野菜の生産拡大のための取り組み支援
○ＪＡ営農経済渉外活動の導入・
　実践にともなう総合的な支援
○担い手支援のための取り組み
○食の安全・安心対策への取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

○生乳の計画生産の推進
○初妊牛導入推進
○素牛導入推進
○種豚導入推進
○渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
　（優良ＥＴ卵産子の活用促進）

米麦特産課

○こんにゃく生玉集荷・販売推進
　（取扱期間10月21日～12月16日）
○こんにゃく荒粉・精粉販売推進（入札の実施）
○群馬県産トマトジュースの推進
○きのこ種菌・菌床ブロック予約推進
○晩秋蚕繭集荷推進

園芸部

園芸販売課

○共計雨除けほうれん草販売　（周年）
○共計チンゲンサイ販売　（周年）
○共計味にら販売　（周年）
○県統一規格共計きゅうり抑制販売　（12/末日迄）
○共計白ねぎ販売　（3/末日迄）

販売促進課

○秋冬野菜販売促進
○もやし類・加工野菜販売促進
○花き類販売促進

園芸資材課

○秋冬野菜出荷資材予約・当用推進
　（段ボール・パック・フィルム・果樹用資材等）
○低コスト段ボール推進
　（ＡＫライナー・新形状段ボール等）
○温床資材予約推進（農ポリ・トンネル資材・
　カーテン資材・こんにゃくマルチ等）
○秋冬用野菜種子推進（ほうれん草･ねぎ･きゅうり等）
○種馬鈴薯注文取りまとめ

生産資材部

花木流通センター

○売出し・フェアの実施
　☆花木流通センター
　10月11日(金)～14日(月)　秋の大園芸祭
　☆愛菜館
　10月9日(水)、18日(金)、28日(月)
　　8の日お米特売
○造園工事推進

肥料農薬課

○麦肥料推進
○セルフブレンド推進
○麦作除草剤推進

生活部

生活課

○太陽光発電推進（周年）
○生花利用拡大運動推進（周年）
○「上州もみ切りうどん」・
　「四季のめん詰合せ」推進（10月～12月）
○仕込み味噌推進（25/10月～26/3月）

施設住宅課

○賃貸アパート・個人住宅推進　（周年）
○カクイチ物置・広スペースハウス推進　（周年）
○住友不動産「新築そっくりさん」推進　（周年）

自動車燃料部

ガス課

○平成25年度ガス器具特別推進
○ふれあい訪問活動推進
○第２回クミアイガス器具特別推進

JA北群渋川・JA全農ぐんま
葬祭事業共同運営開始セレモニー
（9.1　ＪＡ北群渋川葬祭センター）

■更なる事業の充実と拡大を目指して

9月1日（日）より、当県本部は、JA北群渋川との葬祭事業共同運営を開始しました。式典で挨拶に立った亀井組合長は、「全農のプロフェッショナルな技術と知識を取り入れることは、大きなメリットである。」と話し、須藤本部長は、「安心と信頼を基本に、利便性を高め、更なる葬祭サービスの向上に努めていきたい。」と挨拶しました。当県本部では、今後もJAとの葬祭事業の共同・応援施行に取り組み、地域社会の貢献に努めます。

平成25年度毒物劇物取扱者試験準備講習会
（9.3～4　JAビル）

■本試験合格に向けて

９月３日（火）・４日（水）、肥料農薬課は、毒物劇物取扱者試験に向けた準備講習会を開催しました。講習会では、全農肥料農薬部　関東肥料農薬事業所の住田氏と阿久津氏を講師に招き、基礎知識や過去問題の解説等の講義が行われました。当日は、県内JA及び当県本部の受験予定者約80名が参加。10月27日（日）に行われる本試験に向け、参加者はメモを取りながら熱心に受講していました。

群馬県麦民間流通地方連絡協議会
（小麦・大麦部会合同）
（9.4　前橋市内）

■需要に即した麦生産へ向けて協議

９月４日（水）、県産麦の生産振興と円滑な流通を図ることを目的とした「群馬県麦民間流通地方連絡協議会」が開催され、生産者団体や実需者、行政関係者等56名が参加しました。当日は、作柄状況や有望系統・品種等について協議が行われ、需要に即した麦生産のための意見交換を行いました。実需者の品質と生産の安定を求める声に対し、生産者代表は「他県に負けないよう一丸となって取り組んでいきたい。」と述べました。

群馬県こんにゃく現地研究大会
（9.12　富岡市内）

■大転換期における新たなこんにゃく経営

９月12日（木）、甘楽富岡地区におけるこんにゃく栽培の現状を視察するとともに、主産地における生産・流通上の問題点、生産振興等について検討し、今後のこんにゃく栽培技術の向上と経営改善の一助を目的とした「群馬県こんにゃく現地研究大会」が開催されました。当日は、群馬県内外の生産者や関係者、約600名が参加。「食料を巡る国際環境と日本農業の活路」と題した講演会や現地視察等が行われました。

群馬ヘリポート「空の日フェスタ」
（9.14　群馬ヘリポート）

■地域のイベントを応援

9月14日（土）、9月20日（金）の「空の日」に合わせ5年前から行われている、㈱日本航空コンサルタンツと大成サービス㈱主催の「空の日フェスタ」が今年も開催されました。このイベントに当県本部も協賛し、ぐんま県産米販売促進協議会から「ゴロピカリ2kg×10袋、500g×100袋」を無償提供しました。提供したゴロピカリは来場者を対象とした抽選会の景品として使われ、当選した家族連れなどに大変喜ばれました。

JA佐波伊勢崎「JAラ♡ラ♡タウン」
オープニングセレモニー
（9.17　JAラ♡ラ♡タウン）

■期待の「JAラ♡ラ♡タウン」がオープン

9月17日（火）、JA佐波伊勢崎「JAラ♡ラ♡タウン」のオープンに伴いセレモニーが開催され、設計及び施主代行を務めた当県本部も出席しました。この新店舗は、金融店舗（みやごう支店）としての機能だけでなく、ローンセンター・不動産センター・旅行センター・ギフト館・ブライダル関係など、様々な機能をもった複合施設となっています。当日は福引き抽選会等のイベントも開催され、多くの人で賑わいました。

平成25年度第３回TAC活動研修会（品目別）
（9.20　JAビル）

■身につけた知識を業務に活かす

9月20日（金）、「第３回TAC活動研修会」が営農総合支援センター主催により開催されました。コミュニケーションスキルについて学んだ第１～２回に続き、今回は品目別の基礎知識を身につけるべく県内12ＪＡの担当者が出席しました。研修会では、「肥料・農薬」「園芸資材」「農業機械」について当県本部の担当者等が講師となり、日常業務に必要な知識やポイントを説明しました。

第31回全農酪農経営体験発表会
（9.27　東京都内）

■日々の努力と成果に優秀賞

9月27日（金）、農協・県連・県本部が推薦する優秀な酪農経営体験者を選定・表彰し、酪農経営の安定・発展に資することを目的とした「第31回全農酪農経営体験発表会」が開催されました。群馬県からは、当県本部の推薦により、ＪＡ佐波伊勢崎管内で複合経営を行う鹿沼のぞみさんが出場。「家族４人による乳肉複合経営の確立」と題した発表を行い、その努力と成果が認められ、見事優秀賞を受賞しました。

一層の消費拡大とイメージアップを図る

9.15（日）～16（月）　首都圏における知事等によるトップセールス

安全・安心・新鮮な群馬県産農畜産物を首都圏の実需者に売り込もうと、大澤群馬県知事やJAグループ群馬の長岡会長等がトップセールスを行いました。当日は、東京都中央卸売市場築地市場にて、試食宣伝やセリ台でのPR、市場取引調査等を行いました。

また、「ぐんまの食材を語る夕べ」も開催され、県産農畜産物のプレゼンテーションや、本県の代表的な食材を使った料理を囲みながら実需者との意見交換が行われました。

ビールと共に、群馬の美味しさをPR

9.19（木）　キリン　選ぼうニッポンのうまい！2013　群馬の地産品を食する会

キリンビール㈱が実施する、47都道府県のうまいものが当たる「選ぼうニッポンのうまい2013」プレゼントキャンペーンにおいて、今年も本県を代表して上州牛と上州麦豚が名産品に選ばれました。キャンペーンの開始に伴い、ホテルメトロポリタン高崎において「群馬の地産品を食する会」が開催され、関係者約200名が出席しました。

会場には、料理長が考案した上州牛や上州麦豚、県内産野菜を使用した料理が並び、群馬県産農畜産物をPRしました。

会員制JA支援サイトを公開！ 情報発信力と現場の営農支援強化を図る

当県本部のホームページは、４月１日（月）に10年ぶりにリニューアル公開され、９月１日（日）からはスマートフォン対応となっています。また、10月１日（火）からは、スマートフォンに最適化された会員制JA支援サイト機能が追加公開されました。会員制JA支援サイトでは、当県本部から割り当てられたID・パスワードを入力することで、JA営農指導員・TAC・購買店舗担当者が、農家推進や窓口対応等で活用できる肥料銘柄検索や肥料農薬技術・製品詳細情報等を確認することができます。この機能を担当した肥料農薬課の中島主任は「スマートフォンを使って会員制ＪA支援サイトにアクセスすることで、ＪAの担当者は外出先でも、組合員の皆様に適切な情報を迅速に伝えることができるようになる。」と話し、現場での活用を期待しています。

群馬県内 JA-SS

あったか灯油キャンペーン!!

新規のお客様大歓迎

キャンペーン期間:2013 10.1(火)~11.30(土)

※景品の交換は2013年12月末日までにお願いいたします。

ただいま店頭灯油36ℓ購入毎に三角クジ1枚進呈!

当たりが出たら

JA-SS プリペイドカード 1,000円分 プレゼント!

群馬県内 500名様

さらにチャンス

ハズレ券はWチャンスとして3枚で…

もれなく食器用洗剤 250ml 1本 プレゼント!

※写真はイメージです。

交換は灯油を購入されたJA-SSにてお願いいたします。

配達灯油もJA-SS!

配達灯油ご利用のお客様にご利用数量に応じて食器用洗剤をプレゼント!

1回の灯油配送につき 150ℓ 以上で1本プレゼント

※写真はイメージです。

1回の灯油配送につき 300ℓ 以上で2本プレゼント

※写真はイメージです。

新規お客様ご紹介キャンペーン!

JA-SSの配達灯油をお友だち・お知り合いにご紹介ください。ご成約いただくと…

ご紹介者の方へ

ラーメン4袋プレゼント

(国産小麦粉づくりの醤油らーめん・味噌らーめん各2袋)

なお、新規ご成約のお客様には粗品をプレゼントいたします。

お問い合わせ・配送のご依頼はお近くのJA-SSへ

冬の蒟蒻 詰合せセット

KONNYAKU

包装対応 全セット包装致します

受注生産

このマークの商品は、受注生産の為、ご注文からお届けまで7~10日程度お時間がかかります。

Aセット 1,000円(税込)

Sセット 2,000円(税込)

特別セット 3,000円(税込)

消費拡大推進期間 H25.11/1~12月末

お願い 商品の都合により、パッケージ・品名・量目等がかわることがありますので、ご了承下さい。

ご注文はJA・全農へ

■お問い合わせ先

JA全農ぐんま 米麦特産課

TEL 027-220-2251

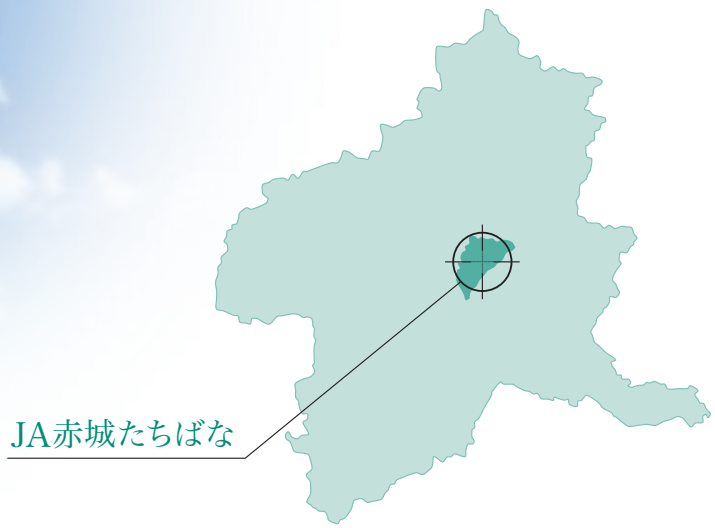
JA みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時　間
JAバンクスマイルキッズ食育キャラバン／JAバンク群馬信連	※10月27日(日)	AM 8:00~8:30
収穫感謝祭2013／JAグループ群馬	10月28日(月)	PM 9:00~9:30
	※11月 3日(日)	AM 8:00~8:30

三隅 有里子アナ

農業チャレンジャー



こだわりの赤城ポーク 美味しさに自信

JA赤城たちばな　**田中　則之** さん

田中　則之（たなか・のりゆき）さん

1984年生まれ、29歳。
ＪＡ赤城たちばな青年部の支部長を務める。
母豚頭数：90頭
趣　　味：スポーツ・旅行

就農への道のり

今回のチャレンジャーは、家族と共に養豚経営を行う田中さんです。農業を営む両親の姿を見て育ち、自身も就農を決意したという田中さん。「幼い頃から慣れ親しんだ農業への道に迷いはありませんでした。その為、学生時代から養豚を学び、卒業後１年間は岩手県の大規模農場で研修生として働き、知識の習得に励みました。そこでの経験が自分を成長させてくれたと思っています。」と当時を振り返ります。

今年で就農７年目。農業の魅力は、「人間関係のストレスがなく、時間を自由に使えるところ」と田中さん。現在は家族と共に母豚90頭を飼養し、品質にこだわった養豚経営を行っています。

美味しい豚肉を消費者へ

「赤城ポーク」は、充分な保水性による良好な肉の締りと色が特徴であり、日本人の趣向にあった美味しい銘柄豚です。JA赤城たちばな管内では、田中さんを含む13軒の農家で生産されており、県内だけでなく県外の消費者へもPRすべく、生産者自ら試食宣伝活動も行っているそうです。「徹底した管理の下、良質な飼料を与えているので、美味しさには自信があります。JAと協力し、安全・安心・美味しい赤城ポークを多くの人にPRしていきたいと思います。」と田中さん。試行錯誤しながらも、家族や仲間と共に、こだわりの豚肉生産に努めています。

これからの農業への思い

田中さんに農業に対する思いを伺うと、「飼料価格の高止まり・枝肉価格の低迷と、厳しい状況におかれていることには不安を感じます。この状態が続けば、後継者不足に拍車がかかるのではと心配しています。とにかく根本を改善して欲しいですね。今後の経営に関しては、規模を拡大することなく、豚の能力を最大限に引き出し、産子数を増やすことで安定化を図りたいと思います。そして、更なる品質向上を目指していきたいです。」と話してくれました。

後継者として、冷静な判断能力を持ち、客観的に物事を考えることも重要と語る田中さん。今後の活躍が期待されます。

1「農業は全て自己責任、だからこそやりがいがある」と田中さん。

2 ２人の娘をもつ父親として、家族と過ごす時間も大切にしているそう。

3 目標出荷頭数は2,000頭。飼養管理・衛生管理等を徹底し、消費者に喜ばれる豚肉生産を行う。

4 ＪＡの担当者と共に豚をチェック。情報の共有化を図り、協力し合いながら品質向上を目指す。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JAたかさき
営農部　営農支援課

西島　　武さん

Profile

にしじま　たけし（41歳）

趣味……食べ歩き・スポーツ
（スノーボード・ボーリング等）
好きな食べ物……蟹・寿司
嫌いな食べ物……甘いもの
●職場の皆さんから見た西島さん
「とてもエネルギッシュな人です。周囲に疲れを見せないですね。
本当に頼りになる仲間です！！」

「地域農業を明るく元気にしたい」

――現在の仕事内容を教えてください。

TAC担当として地域農業の担い手を訪問し、意見や要望に応えながら経営に役立つ情報を届けることで、営農支援を行っています。肥料・農薬や病気に関しての相談等にはiPad を使うことで、現場でのスピーディーな対応に心がけています。

――以前は、どのような仕事をしていたのですか？

農産物直売所「グル米四季菜館」で店長を務めていました。店舗を管理するという責任を伴う業務でしたが、その分やりがいもありましたね。また、直売所では生産者と消費者、両方の声を聴くことが出来ました。その時に培ったコミュニケーション技術は現在も大いに役立っています。

――西島さんは食に関する様々な資格をお持ちだそうですね。

はい。「野菜ソムリエ」と「お米のソムリエ」としての活動も行っています。ＪＡたかさきでは、地元の新鮮野菜の美味しさを多くの消費者に伝えるために様々なイベントを開催しており、そこで食に関する講演会等を行っています。また、昨年から開催している「農コン」でも、地域の若者に対し野菜の魅力を伝えています。

――農コンとはどの様なイベントなのですか？

食の安全・安心、地産地消などの農業に対する理解を深め、地域の活性化に繋げることを目的とした婚活イベントで、農業青年と農業に興味のある女性を対象としています。次回は11月９日（土）に開催予定です。多くの方に参加して欲しいですね。

――そんな西島さん、休日はどのように過ごしているのですか？

もちろん食べ歩きです。週末は都内で美味しいお店を巡っています。連休は九州や北海道まで足を運ぶこともありますよ。

――本当に食べることが大好きなのですね。最後に、今後の意気込みをお聞かせください。

TAC担当になって今年で２年目。現在、100軒程の担い手を担当しています。まだまだ勉強の毎日ですが、若き就農者の良きパートナーとして、頼れるＪＡ職員を目指します。また、担い手支援の一環として、農コン等のイベントにも力を入れていきたいですね。

――強い向上心で前進し続ける西島さん。これからも、地域農業のため頑張ってください。ありがとうございました。

農コン・各種イベントに関するお問い合わせ先
JAたかさき　℡027-352-5288

▼野菜ソムリエとして講演を行う西島さん

畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は９月25日に８月の牛乳乳製品統計を公表した。８月生乳生産量は60万7,577tで前年同月比3.5%の減となった。北海道は32万1,189t（前年同月比3.7%減）で生産量の全国シェアは52.9%となった。

都府県の生産量は28万6,388tとなり、前年同月比で3.3%減少した。

生乳生産量と用途別処理量

（単位：t、%）

区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月
生乳生産量	全国	644,121	594,620	664,447	650,222	671,097	638,214
	群馬(委託実績)	18,743	17,425	19,910	19,599	19,959	18,641
	本会(委託実績)	5,725	5,354	6,125	6,558	6,640	6,158
用途別処理量	飲用牛乳等向け	320,541	301,201	320,571	324,209	346,307	346,396
	乳製品向け	318,662	288,565	339,160	321,246	320,073	287,092
	その他向け	4,918	4,854	4,716	4,767	4,717	4,726
前年対比	生乳生産量(全国)	99.7	96.8	99.7	100.1	100.0	99.4
	〃 (群馬)	99.2	95.5	99.5	100.1	99.8	99.5
	〃 (本会)	97.3	93.2	96.1	105.7	106.4	106.2
	飲用牛乳等向け	98.5	93.2	98.0	98.9	98.8	98.6
	乳製品向け	101.0	100.9	101.4	101.4	101.3	100.4

7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
632,103	607,577					5,102,401
18,295	17,574					150,144
5,996	5,665					48,221
349,569	328,957					2,637,751
277,756	273,978					2,426,532
4,778	4,642					38,118
98.1	96.5					98.8
99.4	98.4					98.9
106.1	104.4					101.9
100.4	99.0					98.2
95.4	93.6					99.4

■販売及び乳製品情勢

８月の用途別処理量は、牛乳等向けが32万8,957t（前年同月比1.0%減）、乳製品向けが27万3,978t（〃6.4%減）となった。

飲用牛乳等生産量は28万6,374kℓ（〃1.1%減）で前月から0.2ポイント減少し、内牛乳が24万4,309kℓ（〃0.1%減）、さらに乳飲料は13万0,895kℓ（〃0.5%増）で前月より2.8ポイント減少した。

肉牛情勢

肉牛枝肉相場（10月予想） 素牛不足を背景に出荷頭数が減少し、強もちあいで推移する見込みだが、輸入物が増加すれば下位等級はやや下げる可能性もある。

肉牛枝肉相場（予想）

和牛去勢A5	2,200円中心	和牛去勢A3	1,800円中心
和牛去勢A4	1,950円中心	和牛去勢A2	1,480円中心
交雑去勢B5	1,740円中心	交雑去勢B3	1,250円中心
交雑去勢B4	1,440円中心	交雑去勢B2	1,200円中心
		乳牛去勢B2	750円中心

枝肉価格の推移（群馬県食肉卸売市場）

（単位：円/kg、税込み）

年・月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計
和牛去勢A4	24年	1,551	1,467	1,537	1,604	1,641	1,665	1,629	1,590	1,649	1,682	1,776	1,867	1,638
	25年	1,695	1,750	1,785	1,749	1,829	1,901	1,829	1,832	1,898				1,808
	前年格差	144	283	248	145	188	236	200	242	249				169
和牛去勢A3	24年	1,314	1,230	1,334	1,393	1,482	1,476	1,445	1,349	1,419	1,495	1,592	1,707	1,436
	25年	1,585	1,615	1,633	1,627	1,717	1,710	1,664	1,649	1,710				1,657
	前年格差	271	385	299	234	235	234	219	300	291				220
和牛去勢A2	24年	1,018	1,066	1,153	1,233	1,340	1,315	1,249	1,187	1,238	1,376	1,385	1,466	1,252
	25年	1,180	1,419	1,479	1,508	1,472	1,522	1,441	1,405	1,521				1,439
	前年格差	162	353	326	275	132	207	192	218	283				186

群馬県食肉卸売市場上場頭数

（単位：頭）

年・月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計
24年	1,042	932	1,294	1,270	845	1,167	1,467	1,406	1,383	1,336	1,887	1,668	15,697
25年	1,000	1,123	1,025	1,236	929	898	1,126	1,098	1,090				9,525
前年増減	▲42	191	▲269	▲34	84	▲269	▲341	▲308	▲293				▲6,172

■素牛動向

①全農・取引基準価格（乳去）260～300kg　408円／kg（前月比99%）

②Ｆ１価格　（去勢）250～300kg　1,029円／kg中心　（雌）250～300kg　912円／kg中心

③和牛子牛　（去勢）542千円中心（前月比102%）　（雌）467千円中心（前月比102%）

養豚情勢

枝肉相場関係

㈱群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
23年（A）	400	473	463	477	460	537	509	473	431	351	384	436	450
24年（B）	390	393	388	397	420	479	443	468	425	365	358	418	412
25年（C）	363	390	404	450	499	485	498	507	499				455
（B－A）	▲10	▲80	▲75	▲80	▲40	▲58	▲66	▲5	▲6	14	▲26	▲18	▲38
（C－B）	▲27	▲3	16	53	79	6	55	39	74				43

豚肉価格形成要因

㈱群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間頭数
と畜頭数	24年	43,106	42,665	43,703	41,308	41,048	37,617	38,294	38,608	37,444	46,194	47,808	46,869	504,664
	25年	45,435	40,085	41,826	42,393	40,315	34,599	40,317	37,843	39,480				362,293
前年比（%）		105.4	94.0	95.7	102.6	98.2	92.0	105.3	98.0	105.4				71.8

肉豚生産出荷予測（全国）

（単位：千頭、前年同月比%）

区分＼月	5月	6月	4～6月	7月	8月	9月	7～9月	10月	11月	12月	10～12月	1月	2月
全国出荷予測頭数（千頭）	1,421	1,257	4,125	1,374	1,319	1,350	4,043	1,564	1,553	1,580	4,697	1,477	1,347
前年同月比（%）	102	97	101	104	99	106	103	102	101	104	103	102	101

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、10月の出荷見込頭数は1,564千頭（前年同月比102%）となっている。その後は11月1,553千頭（〃101%）、12月1,580千頭（〃104%）と予想されている。10月の出荷頭数、生産量は共に前値比１%増の水準だが、通関業務の厳格化により加工原料となる冷凍品の輸入量が前年より少なく、国産の下げ幅は小さくなる見込み。年末需要期向けの手当ても始まり、昨年を上回る相場となる見込み。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

13年10月225円（見込み）　117%（前年比）

価格の推移

（単位：円）

区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
24年（A）		149	185	178	182	168	161	160	157	176	193	209	230	179
25年（B）		171	190	175	172	164	155	157	175	211				174
（B－A）		22	5	▲3	▲10	▲4	▲6	▲3	18	35				▲5
全国基金補填	24年	24.3	4.104	15.318	12.987	20.88	24.3	24.3	23.886	9.648	0	0	0	
	25年	18.999	0	9.774	15.714	21.645	24.3	24.3	9.306	0				

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、９月以降補填財源はありません。

■価格動向：９月の平均単価は211円（前年同月＋35円）と前年同月を上回り、平成24年10月～平成25年９月期平均は184円（前年同期比＋９円）であった。

■出荷動向：猛暑の影響で関東南部を中心に生産量が伸び悩む見通し。特に産卵率や卵重低下に加え、「成鶏更新・空舎延長事業」の出荷抑制で生産量は大幅減。

■需要動向：気温の低下が進み、鍋物需要などが出始めている。これから産卵羽数が増えるにしても、10月いっぱいは堅調な取引が続くと見る。

卵価要因

区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合　計
加工卵輸入実績（t）	24年	2,356	1,930	2,508	1,781	2,301	2,198	2,403	2,515	2,609	2,762	2,399	1,921	27,683
	25年	1,838	1,961	1,997	2,283	2,151	1,776	2,084						14,090
前年比（%）		78.0	101.6	79.7	128.2	93.5	80.8	86.7						50.9
餌付羽数（千羽）	24年	7,436	7,459	8,065	7,908	7,874	7,780	7,768	7,007	7,534	7,803	7,238	7,314	91,186
	25年	7,215	7,317	7,520	7,742	7,767	7,895	7,200	6,896					59,552
前年比（%）		97.0	98.1	93.2	97.9	98.6	101.5	92.7	98.4					65.3

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(1) 15年：151円
(2) 16年：173円
(3) 17年：204円
(4) 18年：184円
(5) 19年：169円
(6) 20年：193円
(7) 21年：175円
(8) 22年：194円
(9) 23年：188円
(10) 24年：181円

単味飼料・原料情勢

平成25年10月　群馬県本部
畜産農産部　酪農畜産課

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

９月11日発表の米国農務省需給見通しによると、12/13年度産とうもろこしの供給量は、輸入量が３百万ブッシェル減少し、11,931百万ブッシェルとなった。

需要面では、エタノール向け需要が15百万ブッシェル、輸出向け需要が20百万ブッシェル増加し、13/14年度産の完熟が遅れており、12/13年度産の飼料向け需要が増加すると見られることから、11,270百万ブッシェルとなった。この結果、12/13年度産の期末在庫は661百万ブッシェルと前回発表から58百万ブッシェル減少し、期末在庫率は5.81％となる見通し。

13/14年度産の供給量は、期首在庫及び輸入量は減少したものの、収穫が始まっている南部地域において高単収の見通しとなっていることなどから単収が上方修正されたため、生産量が増加し、前回発表から18百万ブッシェル増加し、14,530百万ブッシェルとなった。

需要面では、前回発表と変わらず、12,675百万ブッシェルと据え置いた。この結果、13/14年度の期末在庫は前回発表から18百万ブッシェル増の1,855百万ブッシェル（在庫率14.64％）となる見通し。

シカゴ定期は、収穫が進む南部で良好な単収が報告される一方、週間エタノール生産量･輸出成約高ともに予想範囲内となり、シカゴ相場は軟調に推移し、現在は450セント/ブッシェル付近で推移している。今後、とうもろこしについては天候相場が終了し、天候による相場への影響は少なくなる見込みである。

米国産とうもろこしのFOBプレミアムは、今後南部の収穫が始まり軟化しているが、米国産の輸出需要が堅調であり、底堅く推移するものと予想される。

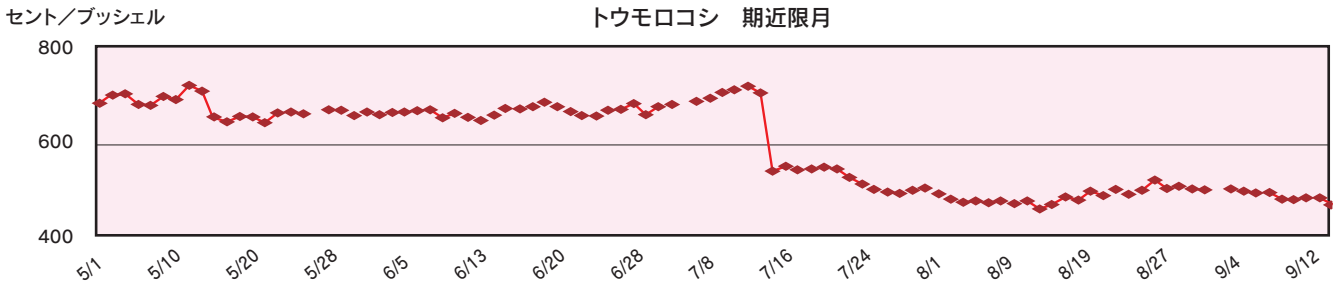
②大豆粕

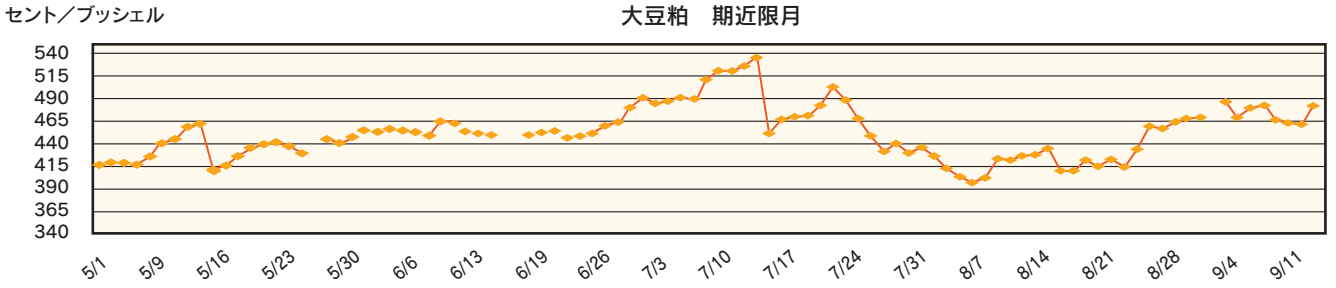
９月11日発表の米国農務省需給見通しによると、旧穀12/13年度については、輸入量の増加により先月より10百万ブッシェル増加して供給量は3,224百万ブッシェルとなる見通し。需要量は搾油向け需要が先月より５百万ブッシェル増加する見通し。結果として期末在庫は、前回発表とかわらずの125百万ブッシェルで在庫率は4.03％のままとなった。

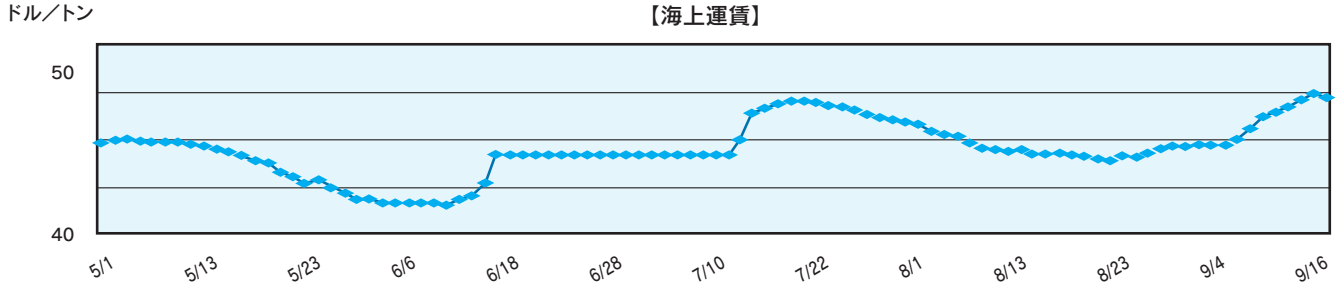
新穀13/14年度の大豆需給見通しは、コーンベルト西部において単収の低下が見通されていることなどから、生産量が減少し、先月より107百万ブッシェル減少する見通し。一方、需要量については、生産量の減少・南米産大豆との競合から輸出向けが減少したことに加え、搾油向け需要の減少も見込まれていることから、先月より36百万ブッシェル減少して、3,140百万ブッシェルとなる。この結果、新穀13/14年度の期末在庫は前回発表から70百万ブッシェル減少の150百万ブッシェル、在庫率4.78％となった。大豆粕のシカゴ定期は、８月初旬は400ドル台で推移していたが、高温乾燥の影響により、９月初旬には470ドル前後となり、現在は430ドル前後で推移している。

■海上運賃

米国ガルフ―日本間のパナマックス型海上運賃は、北米新穀の大量輸送本格化を控えた状況下で堅調に推移しており、現在は47ドル前後で推移している。







花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

「大植木祭り」今年も開催!!

年に一度のビックイベント！ご来場お待ちしております！

日時 11月2日(土)・3日(日) 午前10:00～

両日
- くじ引き大会　●モツ煮無料配布
- 果樹苗木植え付け講習会　●だんべぇ踊り
- 骨董市　●とうろう半額 等

2日(土)
- 松の手入れ・煉瓦積み講習会 等

3日(日)
- コケ玉・コニファー・バラ手入れ講習会 等

※ 各種イベント・講習会へのお問い合わせは花木流通センターまで

11月の売出し・イベント案内

開催日	内　容
11月 2日(土)～ 3日(日)	大植木祭り
11月21日(木) 10:00～ 14:00～	花の寄せ植え講習会(各回20名まで)【参加費・申込み方法等 お問い合わせ先：ふらわーらんど】
11月24日(日) 10:00～	花の寄せ植え講習会(20名まで)【参加費・申込み方法等 お問い合わせ先：ふらわーらんど】

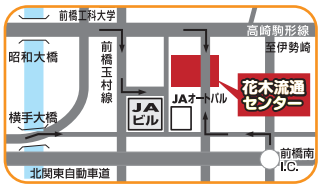
※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花と緑あふれる広場 花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～9月毎週火曜日定休)

取扱商品
- ■園芸資材館/営農・園芸資材等
- ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等
- ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等
- ■エクステージ/外構・造園工事等
- ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等
- ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先 TEL:027-220-2427 FAX:027-220-2424 前橋市亀里町1307-1

たさいひろば JA直販 愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品
- ■産直野菜
- 農産加工品
- 店頭精米等

お問い合わせ先 TEL:027-210-7788 FAX:027-210-9811 前橋市古市町106-1

JA全農ぐんま グッドぐんまの旬の市

1階店舗のご案内

営業時間:毎週木曜日定休/AM10:00～PM18:00

土日は群馬県農畜産物のPRイベント、平日は県特産品の販売をしています。

■ 電車/東武伊勢崎線「浅草駅」より 徒歩3分

■ 地下鉄/東京メトロ銀座線「浅草駅」より 徒歩3分

お問い合わせ先 〒111-0032 東京都台東区浅草一丁目34番4号 TEL:03-3844-0830 FAX:03-3844-0837

◆◆◆ 旬の市11月のイベント案内 ◆◆◆

11月 1日(金)	JAはぐくみ　新鮮きのこフェア
11月 3日(日)	地酒&ぐんまちゃんフェア
11月16日(土)～24日(日)	旬の市6周年記念感謝セール
11月16日(土)	JA利根沼田　農畜産物フェア
11月23日(土)	JA赤城たちばな　採れたて野菜フェア

※イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147群馬県前橋市亀里町1310番

「県本部通信」係まで

E-mail：info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレートを
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 惠美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

梨の香味中華サラダ風

材　料

4人分　　（1人前166kcal）

梨 …… 1個
赤ピーマン …… 2個
鶏肉（胸）…… 1枚
セロリ …… ½本
きゅうり …… 1本
塩・コショウ …… 適量

A
- 生姜（みじん切りにしたもの）…… 小さじ1
- ニンニク（みじん切りにしたもの）… 小さじ1
- ネギ（みじん切りにしたもの）…… 小さじ1
- 酢 …… 大さじ4　醤油 …… 大さじ1と½
- 砂糖 …… 小さじ1　ごま油 …… 小さじ1
- すりごま …… 小さじ2
- 豆板醤 …… 小さじ1

作り方

1 皮をむいた梨を4つ切りにし、芯をとり、せん切りにする。

2 セロリは筋をとり、5㎝程の長さに切り、せん切りにする。

3 同様に赤ピーマン・きゅうりを5㎝程の長さに切り、せん切りにする。

4 鶏肉は塩・コショウし、15 ～ 18分程蒸し、冷めてからせん切りにする。

5 ボウルにAの材料を入れ、混ぜ合わせる。

6 器に1～4の材料を盛り付け、食べる直前に5のタレをかける。（今回は残りのセロリの葉を添えてみました）

■発　行／平 成25年10月25日発行　■発行所／全国農業協同組合連合会群馬県本部 管理部企画開発課
■発行人／山田　一良　〒379-2147 前橋市亀里町1310番地 TEL 027-220-2223 Fax 027-220-2229
■ホームページアドレス／ http://www.gm.zennoh.or.jp　■E-mailアドレス／ info-gunma@gm.zennoh.or.jp

R100 古紙配給率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOYINK この印刷物は大豆インキを使用して制作しています。